1/14 (目)

新春の福島路を駆け抜ける 第 68 回福島町一周駅伝大会



町内地区から6チーム、オープン参加5 チームで競われた本大会。福島港ふれあい広 場前をスタートした選手たちは、沿道の声援 を受けながらタスキをつなげ、福島町を一周 する24キロメートル、8区間を駆け抜けま した。

上位の結果は次のとおりです。

【町内の部】

【オープンの部】

①播磨釜 1時間40分27秒 ①有田工業高校 1時間26分59秒 ②伊万里釜 1時間43分21秒 ②松浦AC 1時間29分40秒 ③鍋 串 1時間43分30秒 ③松浦消防 1時間33分37秒

1/26 ~28

70 回目、最後の疾走

第70回郡市対抗県下一周駅伝大会



今年で最後の大会となる長崎新聞社、長崎陸上競技協会主催の本大会が行われ、郡市代表 11 チーム、約 400 人のランナーが 3 日間かけて県内 42 区間・407.3 キロでタスキをつなげました。

大会には北松・松浦チームとして、市ゆかりの小学生~50代のメンバー36人が参加。初日の11区、ゴールとなった十八親和銀行松浦支店前には大勢のギャラリーが応援に訪れ、声援の中、今福町出身の白石大以夢さんがゴールまで全力で駆け抜けました。

1/5 ~9

小学生が北海道鷹栖町を訪問 ホークス交流事業



この事業は、子どもたちに気候、風土、生活習慣などが異なる地域での生活・交流を通して、郷土愛や広い視野をもってもらうため 実施しています。

今回は小学校5校から6年生5人、5年生1人が参加し、昨年8月に松浦市を訪れた鷹栖町の児童と再会。鷹栖町の皆さんから温かい歓迎を受け、松浦では見ることのできない積雪量や経験したことのない寒さの中、スキーや雪遊びを通して交流を深めました。

1/12 ~ 15

中学生が長野県木曽町、 北海道福島町を訪問

生徒学習交流事業



この事業は、同じ「福島」の名を持つ、気候、風土、生活習慣などが異なる地域での生活・交流を通して、郷土愛や広い視野をもってもらうため実施しています。

長野県木曽町(旧 木曽福島町)では、生徒7人が御嶽山ビジターセンターなどの見学やスキー体験を行い、北海道福島町では、生徒8人が青函トンネル記念館などの見学や函館でのアイススケート体験を通して、両町生徒との交流を深めました。

1/30 (火)

食べたい給食に一票

福島養源小学校 給食総選挙



選挙の仕組みを学び、学校給食への関心を 高めるため、好きな献立に投票する「給食総 選挙」が開催されました。

全校児童・職員 132 人が給食の献立を政党に見立て投票し、6 年生が開票しました。 投票結果は次のとおりです。

【ビビンバ党】55 票【チキン南蛮党】40 票 【鶏肉のレモンソース党】27 票 (投票率 92.4%) 当選したビビンバ党の献立は3月12日の 給食で提供される予定です。 1/28 (日)

絵本作家 川端誠さんトークショー



新移動図書館車のデザイン画を提供いただいた絵本作家 川端誠さんのトークショーが開催され、会場に集まった約80人の参加者が川端さんの絶妙なトークと絵本の世界に引き込まれました。

後半には、市民読者が持っていた川端さんの40年以上前の作品の開き読みや、友田市長との絵本についての熱いトークライブが行われるなど盛りだくさんであっという間の1時間半でした。

2/3 (土)

地域の皆さんへ福をお届け 今福神社 節分祭



節分祭の豆まきが行われ、神社での豆まき の後、町内5カ所で豆まきがありました。

町内の古民家カフェ「Jikka」には地域住民や客約20人が集い、縁起のいい福豆を拾いました。

「福っ娘」は昨年に引き続き、田中伽奈さん(今福中3年)が務め、「今年も町中のいろいろな場所を訪れ、たくさんの人に福を届けることができた。皆さんの笑顔をたくさん見ることができて、気持ちよく豆をまけました」と笑顔で感想を語りました。

2/2 (金)

農業を食べて感じる

松浦青年農業者会(﨑村優也会長)



同会は、子どもたちに「食」や「農業」への関心を持ってほしいと上志佐小学校5年生6人へ食育活動を行いました。

子どもたちは﨑村会長が育てる乳牛から採れた牛乳を使い、牛乳プリンやバター、チーズを手作り。作ったバター、チーズでピザを作り、同会手作りの石窯で焼いて食べました。

子どもたちは「初めてで不安だったけど、 美味しく作れたので嬉しい」、「皆で協力して 作ったピザは一段と美味しい」と笑顔で話 し、農業のめぐみをいただきました。